

第七十回句会 俳句

【高点句】

- ☆春の月父となりたる子に一献 〈明美〉  
☆句読点ごとく咲き出す梅の花 〈郁代〉  
☆立春や黄色ケトルの湯気と音 〈郁代〉  
☆立春や今日の始発の入線す 〈莫院〉  
☆墓仕舞ふ話してをり春寒し 〈眞澄〉  
☆立春や背に陽を受けて針仕事 〈撫子〉

【各自一句】

- ・一升餅背負いよちよち春の風 〈緑〉  
・蠟梅の香に添ひたくて遠回り 〈眞澄〉  
・目薬の頬に流るる春愁 〈郁代〉  
・立春の確かな息吹野に町に 〈一馬〉  
・菓園の名札百本春来る 〈明美〉  
・春来つつ後ろめたさを残しつつ 〈莫院〉  
・老若男女ベンチ満席春来る 〈安津子〉  
・歩を緩め紅梅愛でる親子かな 〈伸子〉  
・春の宵テールランプに導かれ 〈青蛙〉  
・伊予柑を剥く親指の爪に汁 〈撫子〉  
・立春の日に急ぎ食う恵方巻 〈隆司〉

\*以上、34句（3句ずつ11名、1句1名）より、選句は14名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句（今回は第3位が同点で4句）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）